



1



5



3



2



4

①流しびなの行方を見守る親子。
②手を合わせてじっと祈る着物姿の子。③犬のSNOWちゃんもひな流しのお供。④水面をゆっくりと流れていきます。



6



7

3/5 SUN

4年ぶり、春の風物詩

小瀬川木野地区

平成31年以来となる青少年育成市民会議主催の『ひな流し』が、小瀬川沿いの4会場で開催され、およそ500人が訪れました。両国橋下流の木野地区の河原では、市内外からの人でにぎわい、穏やかな春の風物詩を楽しんでいたようです。

今年は、事前に配布したひな人形の材料を自作して持ち寄り、わらで編まれた棧俵に季節の草花と一緒に、願いを込めて流します。

小方ヶ丘から来た多川3きょうだいの願い事を尋ねると、知希くん(小6)は「世界平和」、咲希さん(小4)は「絵がうまくなりますように」、優希さん(小2)は「叔母さんの子どもが無事生まれますように」と教えてくれました。

緩やかな流れに乗る一对のひな人形に、思い思いの願いを込めて手を合わせる姿が、大竹の春の訪れを告げるような光景でした。



出産で里帰り中のお母さんと一緒に来た山本紗来ちゃん(2歳)



2



1



3



4



5



7



6

①平口洋衆議院議員をはじめ、関係者らでテープカット。②くす玉の前でポーズを取るの、式典のお手伝いをした大竹高校の生徒。③吹奏楽の演奏で自由通路渡り初め。④自由通路に飾られた和紙のこいのぼり。5年ぶりに描いた大石雅子さんと、レリーフを制作した広島市立大学准教授の青木伸介さん。⑤自由通路の完成を祝ってジャンプの親子⑥自由通路から機関車を撮影する鉄道好き少年。⑦寄付者の名前の入ったレリーフ。



PART1

寄付ありがとうございました
企業・団体・個人からの寄付額
1億1468万4千円(1820件)

誕生、新駅舎・自由通路
大竹駅
新しい駅舎と東西自由通路が完成し、供用開始を前に記念式典が挙行されました。
入山市長は「広島県の西の玄関としてふさわしい活力と魅力あふれる駅となると期待しています」とあいさつ。
式典後、大竹中学校と大竹高校の吹奏楽部が演奏する『上を向いて歩こう』で、西口から東口へと自由通路の渡り初めが行われました。横断幕を持って先導した大竹中2年の佐多翔くんは「緊張したけど達成感があったと満足」。
午後からは一般見学会として、自由通路が開放され、多くの人が行き交う光景が見られました。大竹駅再生プロジェクトとして公募したクラウドファンディングの寄付者の名前(希望者)が刻まれた大竹和紙を使ったレリーフ。大竹の自然や工業都市をイメージしたデザインに、大竹高校2年の山根花さんは「小瀬川の流れのよう」とうれしそうです。
見学会に訪れた三上敏子さん(西栄)は「栄町が便利になる。踏切を渡らず行き来できるようになった」と喜びの声を聞かせてくれました。



親子で楽しいおはなし会の様子



「マロンとのやくそく」どこにはってあるかな〜



「学研」の新しい本が入りました。調べ学習にどうぞ。



YouTube大竹市図書館チャンネル

4月 (APR)						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

■白字は図書館の休館日です。○はおはなし会の日です。

展示コーナー
一般向き まもる
児童向き いきものだいすき
時事コーナー 障がいについて考えよう

お知らせ
4月から1階視聴覚コーナーと地下学習室でFreeSpotWi-Fiの利用を開始します。パスワードはカウンターで渡します。

※イベントは中止・延期になる場合があります。



市立図書館ホームページ

携帯アドレス

http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/mobile

問い合わせ ☎52-5338 FAX 52-8005

イベント紹介

おひざにだっこのおはなし会
とき4月14日(金)10時30分〜▼ところ図書館2階ギャラリー1▼対象0歳から

親子で楽しむおはなし会
とき4月14日(金)11時〜▼ところ図書館2階ギャラリー1▼対象1歳から

おはなし会
とき4月15日(土)11時〜▼ところ図書館2階ギャラリー1▼対象幼児・小学生

新刊案内

こども本の

おとなの本



「パップという名の犬」

ジル・ルイス/作
さくま ゆみこ/訳
(評論社)

あの男の子がいれば、きっと守ってくれる。でも、今はここが自分の世界。野良犬として生きていくしかないのだ…。都会に暮らす野良犬たちを主人公に、人間と動物のかかわりを、弱い立場の者たちに心をよせていねいに描く。



「農業をささえる生きもの図鑑 地味にスゴい！」

田んぼや畑で大活躍！
谷本 雄治/著
イシダ コウ/マンガ・イラスト
(小峰書店)



「ほこりはどこからやってくる???」

ひるね太郎/さく・え
(文芸社)



「答えは市役所3階に」

辻堂 ゆめ/著
(光文社)



「ゼロから分かる！ 知れば知るほど、面白いジャズ入門」

後藤 雅洋/監修
(世界文化社)

「スマホ失明」

川本 晃司/著
(かんき出版)

スマホの普及により「失明人口」が爆発的に増加する!? スマホの使い過ぎで近視が悪化すると、失明する可能性があることを最新の研究から明らかにし、行動経済学をベースにした近視対策法を紹介する。



人生100年時代、目が見えなくなった後の人生をどう生きますか？

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載している催しなどは中止、または延期になる場合があります。



大竹中学校



7 卒業証書を受け取り、おごそかに席に戻ります。



1 卒業アルバムを手にジャンプ。2 卒業式を終え、気持ちも体も空中浮遊。3 胸を張っての入場です。

4 十亀校長が卒業証書を手渡します。5 在校生代表の奥下結衣さん「伝統のボタンをつなぎいでいきます」。6 卒業生代表後藤詩歩さんは「充実した3年間は先生方のおかげ」と感謝の言葉。8 卒業アルバムにはみんなのサインがいっぱい。

3/8 WED

涙と笑顔で新たな一歩

大竹・小方中学校

暖かな春の日、市内3つ中学校で卒業式が執り行われ、それぞれの思い出が詰まった母校を旅立ちました。

3年ぶりにマスクを外して行われた卒業式。緊張した面持ちや、笑顔がよく見えます。

大竹中の十亀琢磨校長は、これからの時代に対応するため、「学び続けること、夢や目標を持ち続けること」の大切さを、はなむけの言葉として102人の卒業生に贈りました。

小方中では、卒業生69人を在校生らが花道をつくって拍手で送ります。

校門付近では、ともに過ごしてきた友達や先生と記念撮影。最後の学校生活の思い出を形に残しました。



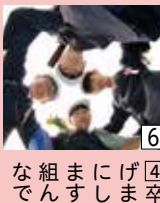
小方中学校



9 真鍋和聡校長から「おめでとう」と授与される卒業証書。10「迷ったり嫌になったりしたとき、この3年間の思い出してください」と在校生代表中村優心さん。11 卒業生代表蔵本尊亜さんは、「みんなと巡り会えたことが1番の宝物」と答辞。12 将来は「看護師か介護士」「歯科衛生士か保育士」になり人を助けたいと話す岡田末菜さんと加川万莉奈さん。13 最後のホームルーム。感極まる場面も。



大竹小学校



4 卒業証書を高々と掲げます。5 卒業証書を手にして体育館を後にします。6 仲間とスクラム組んでスマイル。7 みんなで記念の自撮り。

ピカピカの大きなランドセルを背負った入学式から6年。兼田等校長から一人一人に渡された卒業証書を手し、思い出の詰まった学びやを巣立ち、次のステージへととはばたく106人の卒業生です。在校生代表の佐伯美織さんは送辞で「より素晴らしい学校にしていきたい」と誓い、卒業生代表の坂本悠人くんは「夢に向かって努力する」と答辞で応えます。式の後、校舎の前では名残惜しそうに写真を撮り合う姿がありました。



14 決めポーズの中で輝くピース。15 みんなで跳ねるほどの喜び。



PART 2